

# 平成25年度 事業報告

## I 事業推進報告

### 第1 自主交通安全推進事業（公益目的事業1）

#### 1 交通安全意識向上事業

- (1) 交通安全知識・技術の向上を図ることを目的としたセミナーの開催

交通安全地域指導者セミナーの開催については、内閣府主催の平成25年度北海道ブロック交通ボランティア等講習会の開催の意向があり、その開催内容及び対象者が類似することからセミナーの単独開催を行わず国の事業への支援を行うとともに交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、交通安全推進員が講習会に参加し、指導技法を習得しました。

・10月23日～24日 札幌市（かでの2・7）110名参加

- (2) 交通安全研修会等への講師の派遣

企業・団体等が開催する交通安全研修会等に、講師として交通安全推進員等を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。

対象	派遣回数
高齢大学・老人クラブ	19
公務員	1
その他	4

#### 2 調査・研究事業

- (1) 交通安全推進員の設置

総合振興局・振興局内に設置されている地区交通安全推進協議会事務局に交通安全推進員14名を委嘱配置し、地域の実情に即した効果的な交通安全運動を推進するほか、交通安全に関する調査を実施し地域住民に情報を提供しました。

- (2) デイ・ライト事業の点灯率調査

各地区交通安全推進員により毎月1回デイ・ライト運動の点灯率を調査し、調査結果を関係機関・団体に提供をして、実施率の向上と一般ドライバーの参画意識の向上を図り交通安全意識の高揚に努めました。

- (3) 交通安全推進員の研修

交通安全推進員研修会

交通安全推進員14名を対象に研修会を開催し、事業概要、交通安全運動の推進要領の確認を行い、更に体験型講習の実技等について研修しました。

・4月22日 札幌市（北農健保会館）

#### 3 広報事業

- (1) 交通安全総決起大会

秋の全国交通安全運動行事の一環として、「2013交通安全道民総決起大会」を開催し、事故が多発している高齢者や自転車の事故防止をテーマとして、講演や実践事例発表により事故防止を訴えました。

・9月20日 札幌市（共済ホール） 500名参加

(2) 新聞紙面を活用した広報活動

正会員である新聞社と連携し、交通安全に関する自主的取組みを積極的に支援し、新聞紙面を活用した広範な広報活動を推進しました。

新聞社名	新聞掲載日
朝日新聞社北海道支社	11月20日、11月26日、12月2日、12月10日
読売新聞北海道支社	9月21日、11月18日、11月20日
毎日新聞社北海道支社	6月28日、9月21日、1月1日、2月24日
北海道日刊スポーツ新聞社	7月10日、7月13日、7月17日、9月21日、9月23日 9月30日、11月16日、11月26日

(3) ラジオスポット広報事業

ラジオ媒体を通じ、7大セーフティキャンペーン(「高齢者事故防止」、「自転車走行ルール・マナーアップ」、「シートベルト全席着用」、「スピードダウン」、「飲酒運転根絶」、「居眠り事故防止」及び「デイ・ライト実践」)を呼びかける交通安全スポット放送による広報活動で、事故防止を呼びかけました。

・8月16日～8月31日 3局 計48回(1局16回)

(4) 広報啓発活動支援事業

関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域の問題を掲載した機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

・7月、10月、1月及び3月発行 各11,000部

(5) 交通安全ニューメディア啓発

ホームページを適時更新し、広範な交通安全情報を提供して安全運動に対する理解と協力を得ました。

#### 4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名(日数)	市町村計
4月	礼文町(1,000) 士別市(500) 深川市(500) 厚沢部町(500) 恵庭市(500) 美唄市(300)	4市2町 (計6市町)
5月	中頓別町(3,500) 乙部町(1,500) 秩父別町(1,000) 福島町(1,000) 様似町(700) 幌加内町(700) 広尾町(700) 天塩町(500) 苫前町(500)	9町 (計9町)
6月	浜中町(1,000) 上砂川町(1,000) 幌延町(700) 和寒町(700) 豊浦町(500) 網走市(500) 稚内市(500) 赤平市(300) 砂川市(300) 紋別市(300) 北見市(200) 帯広市(200)	7市5町 (計12市町)
7月	雨竜町(1,500) 赤井川村(1,000) 東川町(700) 羽幌町(700) 足寄町(700) 枝幸町(500) 富良野市(300)	1市5町1村 (計7市町村)

8月	京極町 (3,500) えりも町 (2,500) 夕張市 (1,000) 安平町 (1,000) 浜頓別町 (1,000) 芽室町 (1,000) 豊富町 (700) 湧別町 (700) 仁木町 (500) 室蘭市 (300) 名寄市 (300)	3市8町 (計11市町)
9月	置戸町 (4,000) 江差町 (3,500) 留寿都村 (2,500) 今金町 (2,500) 利尻町 (1,500) 滝上町 (1,000) 鹿部町 (700) 中川町 (700) 中札内村 (700) 新十津川町 (500) 土幌町 (500) 鹿追町 (500) 新得町 (500) 北斗市 (300)	1市11町2村 (計14市町村)
10月	奈井江町 (1,500) 由仁町 (1,000) 東神楽町 (700) 三笠市 (500) 南幌町 (500) 平取町 (500) 鷹栖町 (500) 剣淵町 (500) 利尻富士町 (500) 清里町 (500) 雄武町 (500) 大樹町 (500) 伊達市 (300)	2市11町 (計13市町)
11月	歌志内市 (1,000) 真狩村 (1,000) 深川市 (700) 厚沢部町 (700) 天塩町 (700) 沼田町 (500)	2市3町1村 (計6市町村)
12月	陸別町 (6,000) 愛別町 (2,500) 占冠村 (2,500) せたな町 (1,500) 当麻町 (1,000) 豊浦町 (700) 当別町 (500) 比布町 (500) 下川町 (500) 増毛町 (500) 初山別村 (500) 美幌町 (500) 根室市 (300)	1市10町2村 (計13市町村)
1月	上富良野町 (1,500) 枝幸町 (700) 砂川市 (500) 上川町 (500) 訓子府町 (500)	1市4町 (計5市町)
2月	妹背牛町 (2,000) 様似町 (1,000) 仁木町 (700) 白糠町 (500) 羅臼町 (500) 登別市 (300)	1市5町 (計6市町)
3月	西興部村 (7,000) 島牧村 (3,500) 古平町 (3,000) 北竜町 (2,500) 神恵内村 (2,000) 月形町 (1,500) 浦臼町 (1,500) 池田町 (1,500) 新十津川町 (700) 壮瞥町 (500) 名寄市 (500) 南富良野町 (500) 美深町 (500) 幕別町 (500) 標茶町 (500) 別海町 (500) 函館市 (200)	2市12町3村 (計17市町村)
合 計 25市85町9村 (計119市町村)		

(2) 交通安全運動支援寄付表彰

9月24日、北海道丸和桃太郎親睦会様より、本委員会の交通安全運動を支援するため、継続した寄付の申し出があり、寄付総額が10万円を越えることが見込まれ、表彰要領第7条第2号【9月1日改正・新規追加】に該当することから、感謝状を贈呈しました。

【平成25年9月24日 寄付額 54,475円】

(3) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員64名を

表彰しました。（表彰式 平成26年2月3日 ホテルポールスター札幌）

(4) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した、交通安全母の会会員等62名を表彰しました。（表彰式 平成26年2月3日 ホテルポールスター札幌）

(5) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした21個人・1団体を表彰しました。（表彰式 平成26年2月3日 ホテルポールスター札幌）

## 第2 交通安全活動支援事業（公益目的事業2）

通年運動として、7大セーフティキャンペーン等と連動し、地域・職域・学校等の交通安全を実施しました。

7大セーフティキャンペーン（北海道交通安全総合対策本部決定）	
趣旨	年間を通じて、広く道民が参加する交通安全キャンペーンであり、北海道の交通事故実態を踏まえたキャンペーンとして、地域・職域が中心となって、それぞれの特性に応じて取り組むものとし、特に家族連れなど幅広い年齢層が参加するイベント等の活用や具体的な交通安全のポイントの説明など、場所や方法に工夫を凝らすとともに、「民間団体等の活動の促進」や「交通安全情報の発信活動の推進」に配慮して積極的に推進する。
内容	「高齢者事故防止」、「自転車走行ルール・マナーアップ」、「シートベルト全席着用」、「スピードダウン」、「飲酒運転根絶」、「居眠り運転防止」及び「デイ・ライト実践」

### 1 交通安全啓発支援事業

(1) 広報啓発活動支援事業

交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成・配布して交通安全意識の高揚を図りました。

・ポケットティッシュ 300,000個

(2) デイ・ライト運動推進事業

デイ・ライト運動の浸透・定着を図るため、期別運動で作成するポスターやチラシ等にデイ・ライト運動の標語を併記するなどして、デイ・ライト運動を推進しました。

(3) 自転車の交通事故防止事業・交差点の交通事故防止事業

・新小学生及び新中学生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめその保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成し、自転車利用時の安全運転意識の向上や、交通事故防止とマナーアップを図りました。

・リーフレット（小学生用） 50,000枚【新1年生】

・リーフレット（中学生用） 35,000枚【新1年生】

・平成25年度新規の取組みとして、自転車通学等で利用する機会が多い高校生を重点に、事故・違反による法的責任等を記載した内容のリーフレットを作成配布し、安全意識の高揚を図りました。

・リーフレット（高校生用） 170,000枚【全高校生】

(4) 期別運動

ア 春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、7大セーフティキャンペーンを中心に集いや総決起大会の開催、街頭啓発を活発に展開しました。

運動の種類	運動期間	主 要 行 事
春の全国交通安全運動	4月6日～15日	春の全国交通安全運動「道民の集い」（4月5日）
夏の交通安全運動	7月10日～19日	夏の交通安全運動セーフティコール（7月10日）
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	2013交通安全道民総決起大会（9月20日）
冬の交通安全運動	11月14日～23日	冬の交通安全運動「道民の集い」（11月13日）

イ 各期の交通安全運動の重点等を周知させるため、交通安全運動北海道実施要綱やポスターを作成し、関係機関・団体に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
実施要綱	夏、秋、冬及び春の交通安全運動用	各48,000部
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各7,000枚

（※春と秋のポスターは、内閣府で作成）

(5) 交通安全ライブラリー事業

交通安全に関する視聴覚教材（ビデオ・DVD）を各市町村交通安全推進委員会や各団体等に貸出して、安全意識の高揚を図りました。

- ・7本新規購入

(6) 交通安全啓発活動事業

ア バイクの日

8月19日の「バイクの日」に合わせて、二輪車の事故防止を訴える「交通安全三角旗」を作成し、二輪車の来訪が多い観光地等でライダーに配布して、安全意識の高揚と事故防止を呼びかけました。

- ・交通安全三角旗 1,500本作成

イ 暴走運転防止

暴走運転の危険性を認識してもらうため、安全速度の励行を呼びかけるポスターを作成配布して、スピードダウンを呼びかけました。

- ・ポスター 3,000枚

(7) 幼児の事故防止事業

幼稚園、保育所等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所等に配布して、交通安全意識の高揚を図りました。

- ・活動の手引き 2,500部

(8) 市町村広報活動の支援事業

市町村の広報活動支援のため、広報車用音声データ（広報用カセットテープ・CD）を作成し、各市町村へ配布しました。

- ・広報用カセットテープ・CD 1,075本

(9) 交通安全運動の展開（関係機関等との連携事業）

ア シートベルト全席着用

関係機関・団体と連携し、全席シートベルトの着用やチャイルドシートの正しい着用の向上を図るため交通安全運動期間中を初めとして、集いや街頭啓発においてシートベルト全席着用を呼びかけました。

イ スピードダウン運動

関係機関・団体と連携し、交通安全運動期間中を初めとして、集いや街頭啓発におい

て、スピードダウンを呼びかけました。

#### ウ 飲酒運転根絶運動

各種会議や研修会において、飲酒疑似体験ゴーグルを活用して、平衡感覚の喪失や身体機能の低下を疑似体験し、飲酒運転の危険性を認識させ、飲酒運転の根絶を呼びかけたほか、アルコールチェッカーの貸出も行いました。

#### エ 居眠り運転防止

- ① 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動等で居眠り運転防止を呼びかけました。
- ② 居眠り運転防止用の啓発資材を街頭啓発等で配布して、居眠り運転防止を呼びかけました。

#### オ 交通安全の日等の運動

- ① 交通事故死ゼロを目指す日  
道民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体と連携し「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発を実施し、「交通事故死ゼロを目指す日」の周知と安全意識の高揚を図りました。
  - ・ 4月10日 札幌駅北口交番前
  - ・ 9月30日 札幌駅北口交番前
- ② 自転車安全の日  
毎月第1、第3金曜日の「自転車安全の日」には、関係機関・団体と連携し、歩行者保護、交差点の安全通行、子どものヘルメット着用等、マナーの向上と自転車の安全利用を呼びかけたほか、幼児2人を同乗できる3人乗りの自転車「幼児2人同乗用自転車」を交通安全展等で展示しました。
- ③ 無事故の日  
6月25日の「無事故の日」には、全道各地の交通安全母の会を中心として、関係機関・団体と連携し街頭啓発等を実施したほか、旗の波や啓発資材を配布して、無事故の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

#### カ その他の交通安全対策

- ① 各期の交通安全運動期間中、北海道と共催し、道庁1階ロビーで「交通安全展」を開催しました。
  - ・ 4月11日～12日 春の全国交通安全運動期間
  - ・ 9月26日～27日 秋の全国交通安全運動期間
- ② 北海道二輪車協会による「第12回バイクにフレンドシップ in さっぽろ」において、関係機関・団体と協力をしながら、啓発を実施し事故防止を呼びかけました。
  - ・ 7月7日 赤れんが庁舎前庭 バイク120台参加
- ③ 赤レンガ走友会による「第26回交通安全キャンペーン100キロ駅伝」において、休憩地である中山峠山頂「道の駅」駐車場において合同で街頭啓発及び啓発物の配布を行い、事故防止を呼びかけました。
  - ・ 7月28日 中山峠
- ④ 一般社団法人札幌電設業協会が主催した交通安全街頭啓発に参加し、事故防止を訴えました。
  - ・ 9月27日 札幌大通公園付近
- ⑤ 北海道交通安全指導員連絡協議会の主催で実施されたブロック別指導員研修会を後援し、交通指導要領等の研修を行いました。

10月1日 士別市	10月4日 深川市	10月10日 網走市	10月15日 登別市
-----------	-----------	------------	------------

キ 各種キャンペーン・大会等と連動した運動

- ① 平成25年度工事着工期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
  - ・期間 5月1日～6月30日
  - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ② 道町連共済30周年記念平成25年度全道町内会活動研究大会（後援）
  - ・期日 5月28日
  - ・主催 一般社団法人北海道町内会連合会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ③ 第41回全道青年祭兼第64回全道青年大会（協賛）
  - ・期間 6月15日～16日
  - ・主催 北海道青年団体協議会
- ④ 平成25年度 JA 共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール（後援）
  - ・期間
  - ・主催 農業協同組合、JA 共済連北海道
- ⑤ 第48回交通安全子供自転車北海道大会（協賛）
  - ・期日 7月14日
  - ・主催 一般財団法人北海道交通安全協会
- ⑥ 第64回北海道女性大会（後援）
  - ・期日 9月3日
  - ・主催 北海道女性団体連絡協議会
- ⑦ 第5回交通安全高齢者自転車北海道大会（共催）
  - ・期日 9月13日
  - ・主催 一般財団法人北海道交通安全協会
- ⑧ 平成25年度ブロック別町内会活動研究大会（後援）
  - ・期日 9月20日、9月26日～27日、10月3日～4日、10月10日～11日
  - ・主催 一般社団法人北海道町内会連合会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ⑨ 第34回建設産業交通安全全道大会（後援）
  - ・期日 9月26日
  - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑩ 平成25年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
  - ・期間 10月1日～11月30日
  - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑪ HBC ラジオ交通安全キャンペーン（後援）
  - ・期間 10月1日～12月20日
  - ・主催 HBC ラジオ
- ⑫ 冬期違法駐車 撲滅キャンペーン2014（後援）
  - ・期間 平成26年1月1日～平成26年3月31日
  - ・主催 読売新聞北海道支社、株式会社ヨミックス

2 交通事故防止支援事業（高齢者の交通事故防止事業）

- (1) 高齢者疑似体験装置等を活用して、参加者に高齢者の身体機能の低下を疑似体験していただくことにより高齢者の心理等の理解を深め、高齢者と共存した安全意識の高揚を図る

ための実演会を開催しました。

- ・ 9月10日 森町 60名参加
- ・ 9月12日 旭川市 65名参加

- (2) 各市町村交通安全推進委員会や団体が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故防止を図りました。

○助成先一覧

(単位：円)

助成先	事業内容	助成額
砂川市	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	19,100
滝川市	高齢者宅訪問事業	10,900
深川市	交通安全教室	14,600
芦別市	交通安全教室・夜光反射材普及活動	58,900
札幌市	高齢者に夜光反射材等の配布	100,000
石狩市	市交通安全作品展参加者に記念品贈呈	66,000
岩内町	夜光反射材普及活動	10,100
共和町	独居老人訪問、交通安全教室、夜光反射材の配布	52,000
苫小牧市	高齢者交通安全街頭指導、夜光反射材効果体験会等	47,000
函館市	夜光反射材普及活動	10,800
士別市	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	21,000
美深町	啓発集会の開催・夜光反射材普及活動	10,500
美幌町	シルバー交通安全大会の開催	12,000
佐呂間町	高齢者交通安全教室・セーフティコールの実施	10,200
新得町	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	24,100
帯広市	高齢者ドライバー体験会の開催	40,000
北海道老人クラブ連合会	全道老人クラブ交通安全推進大会	100,000
合計 (17団体 (16市町+1団体))		607,200

※市町村は「市町村交通安全推進委員会」に対して助成

- (3) 「事故検証マップ」を各地区交通安全推進協議会の連携・協力のもと、高齢者の事故事例を検証しながら地域の実情を踏まえながら作成して、高齢者の会合や集会で活用し事故防止を図りました。

- ・ マップ 25枚作成
- ・ マップ活用実施回数 55回 高齢者 3,275名対象

- (4) 「高齢者事故防止夜光反射材実演会」を各地区交通安全推進協議会、各市町村交通安全推進委員会、老人クラブ及び交通安全母の会等の連携・協力のもと開催し、夜光反射材の有用性と効果を体験・認識をしていただき、反射材の普及促進と事故防止を図りました。

- ・ 夜光反射材 4,200個 (2種類)
- ・ 実演会開催回数 51回 高齢者 2,730名対象

- (5) 一般財団法人北海道老人クラブ連合会が主催の「第11回全道老人クラブ交通安全推進大会」時において、夜光反射材の活用方法や交通安全パネルの掲示等により、参加者に事故防止を図りました。

- ・ 6月28日 400名参加



### 第3 交通遺児育英事業（公益目的事業3）

#### 1 奨学金貸付制度の改正

交通遺児等を取り巻く昨今の厳しい経済・雇用状況に鑑み、交通遺児奨学部会に於いて、5回にわたり検討を重ね、理事会の承認を受け、平成25年4月1日から「特例奨学金【給付金付き】」制度を導入しました。

- (1) 貸付を受けた奨学金の70%返還時、残り30%を本委員会から給付し返還を完了する
- (2) 返還期間は、最長65歳に達する月までとする【最短10年】
- (3) 月返還額は、原則5,000円以上とする【特殊事情は、協議する】

#### 2 奨学金の貸付

中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生及び専修学校生（高等課程・専門課程）を対象に、奨学生5人（中学生1人、高校生3人、専修学校生1人）に貸付しました。

##### (1) 資金造成事業

黄色い羽根街頭募金運動のため「黄色い羽根」6,000本を購入し、募金実施市町村へ配付しました。

##### (2) 広報啓発活動事業

機関誌「フレンドリー通信」を9月と3月に各2,200部発行しました。

##### (3) 称賛事業

ア 奨学金返還完了者への記念品（図書カード）贈呈1件

イ 寄付金の受納額 2,653,744円（31件）

ウ 寄付者への感謝状等の贈呈

a 5月9日、空知建設産業安全大会に中村筆頭副会長が出席し、空知建設業協会より239,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

b 9月18日、2013ANAオープンゴルフトーナメントアマプロチャリティトーナメント表彰式に高橋副会長が出席し、全日本空輸株式会社より500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

c 9月26日、第34回建設産業交通安全全道大会に南山会長並びに中村筆頭副会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より1,000,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

d 1月19日、小林豊子きもの学院新年交礼会に中村筆頭副会長が出席し、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より300,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

e その他寄付金614,744円受納しました。

・黄色い羽根募金による寄付受納 371,269円（10件）

・箱募金による寄付受納 345,619円（79件）

エ 寄付者の朝日新聞への掲載 掲載日 6月30日

##### (4) 奨学金返還未納者調査

返還未納者に対し、電話及び書面による督促を行うとともに、自宅訪問による調査を実施しました。

### 第4 交通安全推進団体交付金事業

#### 1 地区活動の充実

地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る支援を行い、その充実を図りました。

## 2 地区交通安全独自活動への支援

地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を支援するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。（1地区120,000円）

地区名	事業名
空知	平成25年度交通安全かわら版作成配布啓発運動事業
石狩	夜光反射材普及啓発事業
後志	秋の輸送繁忙期の交通安全運動事業、交通安全ポスターコンクール募集事業 平成25年度交通安全セミナー事業
胆振	高齢者輪禍防止事業
日高	交通安全啓発促進事業（夜光反射材の普及啓発促進）
渡島	高校生の下校時における交通事故防止事業
檜山	新入学児童に対する啓発活動事業、新成人に対する啓発活動事業、 交通安全啓発用DVDのPR
上川	交通安全啓発事業（高齢者等重点対策事業）
留萌	オロロンライン夏季特別啓発事業
宗谷	交通死亡事故抑止事業
オホーツク	こどもと高齢者の事故防止事業
十勝	交通事故死ストップ十勝百日作戦
釧路	行楽期における交通安全啓発事業（観光地・キャンプ地における交通安全キャンペーン）
根室	7大セーフティキャンペーンの展開（年間スローガン）と交通安全教育の普及事業

## 3 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を展開するほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するために必要経費の一部助成を行い、主に次の事業を実施しました。（337,500円）

### ア 「無事故の日」の啓発

無事故を訴えるチラシを作成・配布して、6月25日の「無事故の日」には、道内の交通安全母の会が地元の関係機関・団体と連携しながら、啓発活動を実施しました。

### イ 北海道交通安全母の会研修会の開催

交通安全母の会活動に必要な知識の取得等のため、講話と実技等を取り入れた研修会を開催しました。

・2月26日 札幌市（第二道通ビル） 38名参加

### ウ 交通安全啓発活動の支援

交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して、活動の支援を図りました。

## 第5 管理事業（法人会計）

### 1 社員総会の開催

(1) 日時 平成25年6月6日(木) 14時00分～15時00分

(2) 場所 ホテルポールスター札幌（札幌市）

(3) 来賓

北海道副知事

山谷 吉宏 様

北海道議会環境生活委員長

包國 嘉介 様

北海道警察本部交通部総括参事官 堀内 巖 様  
北海道教育委員会教育次長 戸沢 孝一 様

- (4) 会員総数 263会員  
出席会員 255会員（うち委任状206会員）

(5) 議 題

報告事項

- 第1号報告 特例奨学金（給付金付き）制度の導入の件  
第2号報告 平成25年度 事業計画書及び収支予算書の件

決議事項

- 第1号議案 平成24年度 事業報告及び決算報告承認の件  
第2号議案 平成24年度 監査報告の件

## 2 理事会の開催

### 【第1回】

- (1) 日 時 平成25年5月23日(木)  
(2) 決議事項 平成24年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告  
(3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき理事の全員が書面により同意

### 【第2回】

- (1) 日 時 平成25年6月6日(木) 13時00分～13時30分  
(2) 場 所 ホテルポールスター札幌（札幌市）  
(3) 出席者  
理事総数 30名  
出席理事 23名  
出席監事 2名  
(4) 議 題

理事会報告事項

- 第1号報告 交通遺児奨学部会委員の選任の件  
第2号報告 平成25年度 交通遺児奨学生の採用及び奨学金の変更の件  
第3号報告 資産運用の計画、経過及び結果の報告の件  
第4号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

総会に報告すべき報告事項

- 第1号報告 特例奨学金（給付金付き）制度の導入の件  
第2号報告 平成25年度 事業計画書及び収支予算書の件

同会に付議すべき決議事項

- 第1号議案 平成24年度 事業報告及び決算報告承認の件  
第2号議案 平成24年度 監査報告の件

### 【第3回】

- (1) 日 時 平成26年3月13日(木) 13時30分～14時25分  
(2) 場 所 かでる2・7（札幌市）  
(3) 出席者  
理事総数 29名（1名欠員）

出席理事 20名

出席監事 2名

(4) 議 題

報告事項

第1号報告 平成25年度 第1回収支補正予算書の件

第2号報告 平成26年度 特定資産運用計画、経過及び結果の件

第3号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務の執行の状況の件

決議事項

第1号議案 平成25年度 第2回収支補正予算書（案）の件

第2号議案 平成26年度 事業計画書（案）及び収支予算書（案）の件

第3号議案 諸規定の一部改正の件

第4号議案 役員改選の件

第5号議案 平成26年度 定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件

### 3 幹部理事会の開催

(1) 日 時 平成25年11月14日(木) 13時30分～14時25分

(2) 場 所 第一北海道通信ビル（札幌市）

(3) 出席者 南山会長、中村筆頭副会長、高橋副会長、及川副会長、川代副会長、大原監事、杉下監事

欠席者 山口副会長

(4) 議 題

報告事項

第1号報告 平成25年度 事業経過について

ア 事業報告について

イ 収入支出執行状況について

第2号報告 平成26年度 予算要求（北海道補助金）の進捗状況について

第3号報告 表彰要領の一部改正について

審議事項

第1号議案 平成25年度 公益目的事業会計 収入支出補正予算（案）について

協議事項 平成26年度 役員改選について

### 4 交通遺児奨学部会の開催

#### 【第1回】

(1) 日 時 平成25年4月19日(金) 13時30分～15時00分

(2) 場 所 第二北海道通信ビル（札幌市）

(3) 出席者

部会員総数 10名

出席部会員 7名

(4) 議 題

報告事項

第1号報告 平成24年度 交通遺児奨学生への貸付・返還等状況について

第2号報告 特例奨学金【給付金付き】制度導入に伴う給付について

議決事項

第1号議案 平成25年度 奨学生の採用について（案）

第2号議案 平成25年度 奨学金返還免除について（案）